

# 行政区・ここが知りたい!

矢板市にある六十七の行政区。このコーナーでは、かわら版記者が注目の行政区を独自のとりに紹介していきます。

## 山苗代行政区

山苗代という珍しい地名、そして、草花を毎年植栽し、花いっぱい運動などでたびたび表彰されている、山苗代の薄井区長を訪ね、お話を伺いました。

### ●地名の由来

「塩谷郡地誌」によると、「昔この付近には稲の苗に似ている美しい竹がいっぱい生えていた。そのため山の苗代と呼ぶようになった」とあり、また矢板市史には、前述した竹の説のほかにも、「山林が肥沃のため、杉の先が稲穂のように

伸びていたことから、山の苗代のような「た」とも記述されています。さて皆さんは、どちらを支持するでしょうか。

### ●山苗代には古墳群があり、石器も出土

山苗代には古墳群があり、三つの支群が示されています。東群に小円墳二基が現存し、中群には小円墳八基(六長台古墳群。一基が損壊して現存、ほかは滅失)、西群に大円墳一基と小円墳が二基現存しています。また先土器時代(一万二千年~二千年前)の石器である有舌尖頭器(やりの穂先)も見つかっています。(「ふるさと矢板のあゆみ」より)

### ●絆を大切にしている行政区

薄井区長(61)に区の特徴をお聞きすると、「戸数24戸、人口百人に満たない区ですが、地域の伝統を重んじ、住民の方々の絆を大切に守ってき



いそがしいトマトの仕事の合間にお話を伺いました。

リーゴールド、サルビア)、植え付け場所の草刈り、施肥、定植、マルチング、

ています。草花の植栽、花ロードづくりは、その結晶のひとつです」と話してくれました。草花の植栽に当たっては、薄井区長さんが空いているビニールハウスを提供して、矢板市自治公民館連絡協議会が主催する「花いっぱい運動」で、五年連続最優秀賞を受賞しています。

その努力が実を結び、矢板市自治公民館連絡協議会が主催する「花いっぱい運動」で、五年連続最優秀賞を受賞しています。



住民が丹精して育てている花・花・花

## 針生行政区

針生行政区は、旧針生地区・西針生地区・長峰地区の三カ所を構成され、行政区の真ん中には東北本線が通っています。

そんな針生地区の公民館は行政区内の箒根神社の階段の下、境内の中にあります。駐車場が無く、会議など大勢の人が集まる場合、車の駐車については長年の課題でした。広いエリアに分散した区民が集まるには、交通手段として車は欠かせません。これまでは周辺の安全な場所に各自駐車するしかありませんでした。

### 地縁団体認可申請

そこで専用駐車場を設けるべく、公民館の駐車場用地を購入するに当たり、「地縁団体認可申請」を行いました。

この認可を受ければ、法律上の権利能力を有する法人格



が認められる事になります。二三年前から準備を始め、今年三月に申請、四月下旬に認可されました。土地の購入と「地縁団体認可申請」は同時進行で行われ、針生行政区の共有財産として土地は登記されました。



針生地区では「ふれあいまつり」が毎年開催されています。その年度により趣向が変わりますが、今年二月には区公民館・育成会の共催で、「城の湯ふれあい館」を借りて行われました。針生の公民館では手狭なので、ほかの施設を使用することもあるそうです。また針生地区には日光北街道が通っており、古道ハイキングを行ったこともあるそうです。



箒根神社の秋の例大祭では、大しめ縄を当番制で作成し奉納しているそうです。箒根神社の境内にある公民館では、大しめ縄作りも伝統文化の継承と考え、また地域文化の一つととらえ、受け継いでいこうと地域の皆さんで毎年頑張っています。